



令和6年中の県内の交通死亡事故(21件22人)

令和6年中の県内の交通人身事故発生件数は、平成13年以降24年連続で減少、交通事故死者数は**22人**で、戦後最少の人数となりました。

● 事故類型別死者数 ()内は高齢者数(内数)

車×車



2人(1人)

車×人



12人(11人)

車単独



6人(4人)

車×自動二輪車



2人(0人)

● 交通死亡事故の特徴

死者の7割以上が高齢者！

死者22人中、65歳以上の高齢者が**16人(構成率72.7%)**と7割以上を占め、前年の18人(同58.1%)に比べ構成率が増加しました。依然として高齢者が被害者となる死亡事故が多く発生しています。



高齢歩行者の横断中の事故が多い！

交通事故死者22人のうち、歩行中の事故死者は12人と半数以上を占めました。

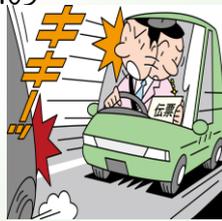
そのうち、横断中の事故死者は8人、うち高齢歩行者が7人でした。

横断中の事故のすべてが、ドライバーから見て**右から左への横断中**の歩行者と衝突する事故でした。



原因の多くが前方不注意！

最も多い事故原因は、前方不注意10件(構成率47.6%)、次いで多いのは、横断歩行者等妨害等などの交通違反6件(同28.5%)でした。また、前年にはなかった飲酒運転の死亡事故が2件発生しました。



歩行者事故の多くは夜間に発生！

歩行中の死者12人のうち、夜間の死者は10人と、8割以上を占めました。

夜間の死者は全員LEDライトや反射材等光るものを着用していませんでした。



1 県内の交通事故発生状況(1月21日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	115	2	129
昨年	106	2	126

2 交通事故死者の年代別

年代	64歳以下	65歳以上	合計
死者数	0	2	2
構成率(%)	0	100	100

● 毎月第二・第四水曜日(祝日、年末年始を除く)に新情報をメール配信しています。(申込方法は県警ホームページ参照)

● 二次元コードからSD情報掲載のホームページに直接アクセスできます。➔

